

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
兵庫ジュニアグランプリ	2018/11/28	JpnII	園田	1400m	ハイペース	重	能力比較、コース適性の見極め

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	インベルフェット	牡2	55	小山	タイムパラドックス	ロベルト系	マイニング	ミスプロ系	D	D	D	D	D	D		
2	2	オルトグラフ	牝2	54	北村宏	Pyro	ナスルーラ系	Iffraaj	ミスプロ系	B	B	B	B	B	B	▲	
3	3	ニシノサトル	牡2	55	大柿	ダンカーク	ミスプロ系	アグネスデジタル	ミスプロ系	D	C	C	D	D	D		
4	4	ララミーハーバー	牝2	54	吉村	エスポワールシチー	サンデー系	キンググローリアス	ミスプロ系	D	B	C	D	C	C		
5	5	デンバーテソーロ	牝2	54	田辺	Violence	ノーザン系	Smoke Glacken	ミスプロ系	B	A	B	B	B	B	△1	
	6	イツクール	牡2	55	松田	アルデバラン2	ミスプロ系	エンパイアメーカー	ミスプロ系	D	C	C	B	C	B	×1	
6	7	トーセングーネット	牝2	54	田中学	アグネスデジタル	ミスプロ系	クロフネ	ノーザン系	C	A	B	B	B	A	△2	
	8	シングルアップ	牡2	55	モレイラ	キンシャサノキセキ	サンデー系	クロフネ	ノーザン系	D	A	C	B	B	C	△3	
7	9	カンピアーレ	牝2	54	永井	ブラックタキシード	サンデー系	コマンダーインチーフ	ノーザン系	D	C	D	D	D	D		
	10	リンゾウチャネル	牡2	55	五十嵐	モンテロッソ	ミスプロ系	タヤスツヨシ	サンデー系	A	B	A	B	A	A	◎	
8	11	ホールドユアハンド	牡2	55	左海	エスポワールシチー	サンデー系	ゼンノメイジン	ミスプロ系	D	B	C	C	C	C		
	12	デルマルール	牡2	55	ルメール	パイロ	ナスルーラ系	コマズ	ノーザン系	A	A	B	B	A	B	○	

隊列図	見解	ラップタイム
ホール リンゾ イッツ シング デンバ デルマ トーセ オルト ララミ ニシノ カンピ インペ	<p>2歳限定のダートグレードでは、JRA所属馬と地方馬の差はほとんどない。それは地方の方が2歳戦が早く行われること（つまりは地方馬の方が仕上がりが早い）、レースの番組が充実していること（JRAでは2、3歳のダート路線が整備されておらず、新馬・未勝利を勝ち上がると出走するレースに限られる）、最近では地方も調教する場所の選択肢が増えたこと（門別の坂路導入や外厩など）などの要因が複合的に絡み合った結果といえるか。今年の2歳限定のダートグレードはすでに2つ行われたが、ともに勝利したのは地方馬だった。エーデルワイス賞も北海道2歳優駿もJRA所属馬がショボ過ぎたといえばそれまでだが、JRA所属だからといって簡単に勝てないのは事実だろう。過去の兵庫ジュニアグランプリを見ても、15年を除けば、地方馬が最低1頭は3着以内に好走。なにも地方馬有利というわけではないが、地方馬にも好走のチャンスは大いにある。今年は例年以上にJRA勢のレベルが高いものの、そのJRA勢に能力的にヒケを取らない地方馬が1頭いる。それでは予想にいきましよう。</p> <p>本命はリンゾウチャネルが普通に勝っても驚けない。（以下省略）</p>	<p>回顧</p> <p>次走狙い馬</p>

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	インペルフエット		前走地元の重賞・若駒賞では12頭立ての12着に大敗。参加するだけだろう。		
2	2	オルトグラフ	▲	新馬、なでしこ賞は相手関係に恵まれた印象が強いものの、パイロ産駒らしい仕上がりの早さとレースセンスの良さを見つけて勝利。キャリア2戦でまだ上昇の余地があることを考えても、「近2走のレースレベルが低い」というだけで評価を落とすのは禁物だろう。		
3	3	ニシノサトル		JRAの未勝利で全く通用せず園田に転厩。結果がどうなるかは目に見えている。		
4	4	ララミーハーバー		過去10年の兵庫ジュニアグランプリで最も遅い勝ち時計でも1分29秒1（16年ローズジュレップ）。本馬の前走は1分33秒5。JRAのペースにはついていけないだろう。		
5	5	デンバーテソーロ	△1	前走エーデルワイス賞で1番人気に推されるも2着に敗退。スタートでやや後手を踏んだことが最後まで影響してしまい、スタートを五分に切って流れに乗れていれば、勝利していたのはこちらの方だった。それでも今回は相手強化、初の1400mかつコーナー4回のコースと克服すべき課題が多い。		
	6	イツツクール	×1	前走ききょうステークスを制してダート初挑戦。父はアルデバラン2なのでダートに対応しても不思議ではないが、やはりこちらもダート初挑戦で即通用するとは思えない。格でもやや見劣るのでは。		
6	7	トーセンガーネット	△2	小久保厩舎+田中学騎手のジャジャウマナラシ・コンビというだけ×で押さえておく価値がありそう。前走平和賞ではヒカリオーソの2着に敗れたが、トーセンブリザード・メモリアルの圧勝ぶりからもっと走ってもいいだろう。		
	8	シングルアップ	△3	前走京王杯2歳ステークスが切れ負け。芝では時計面に限界があり、パワフルな走法からもダートは合うかもしれない。それでもダートグレードで即勝ち負けできるほど甘くはないはず。モレイラ騎手騎乗で人気を集めることを考えても妙味はほとんどない。		
7	9	カンビアーレ		デビュー以来、いまだに未勝利。参加するだけだろう。		
	10	リンソウチャネル	◎	前走鎌倉記念では2着に敗れたが、勝ち馬ミューチャリーが化け物だっただけ。現時点でミューチャリーは全日本2歳優駿でも勝ち負けできると見ており、1頭だけJpnI級の馬がいたとすれば、前走の敗戦は仕方ない。自分でレースを作れるのは大きな強み。小回り1400mもいかにも合いそう。		
8	11	ホールデュアハンド		南関東に転入初戦の若潮特別で逃げ切り勝ちを取めるもトーセンミラクルと接戦ではとてもダートグレードで通用するレベルではないだろう。左海騎手なので何が何でもハナを奪いそうだが、仮に行き切ったとしても3~4コーナーで後退するはず。		
	12	デルマルーヴル	○	未勝利、オサギリス賞と出遅れており、弱点があるといえはあのだが、二の脚が速く、コーナーでの加速もスムーズで器用に馬群を割れるタイプ。その弱点を補えるほどの強みがたくさんあり、コーナー4回の小回りコースでも力を発揮できるだろう。		